



2007年(平成19年)9月28日
 発行: 鎌ヶ谷市国際交流協会
 〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744
 TEL 047-445-1141 (内550)
 FAX 047-441-9400
<http://www.kifa.gr.jp>

千葉から一番近い
「世界遺産」

初秋の日光へバスツアー

鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)主催、恒例の2007年度の国際交流バスツアー、今年はKIFA設立20周年記念の年に当たり、長年の念願が叶い、外国人に人気の高い千葉から一番近い世界遺産「日光の社寺」と日本を代表する名瀑・華厳の滝、戦場ヶ原ドライブ、湯滝が目的地に選ばれた。

◎11カ国46人の外国人が集合

9月2日(日)、参加者92人は2台のバスに分乗、午前7時、市役所前を発車した。半数の46人が市内及び近郊在住の外国人。参加国別では、スリランカ、中国、ブラジル、バンラディシュ、ベトナム、オーストラリア、フィリピン、シンガポール、韓国、インド、ニュージーランドの出身者たち。

バスの車内では自己紹介からスタート。外国人も日本語であいさつ。KIFA日本語教室の受講生も多くいて、学習の成果を発揮する絶好のステージだ。つぎに自国語の「おはよう」「ありがとう」を紹介する。正しい発音を教えられても、すぐには覚えられない言葉もあった。

◎豪華絢爛な門に圧倒される

東北自動車道を快調に飛ばしたバスは、日光山には10時過ぎに到着した。霧雨煙るなか、まずは輪王寺に参拝する前に記念撮影。現地ガイドの説明を聞きつつ、広い表参道を東照宮に向かう。ここには陽明門や本殿、五重塔など50以上の国宝や重要文化財があり、42棟が世界遺産に登録(1999年)されている。

豪華絢爛のシンボル「陽明門」に圧倒され、「三猿」「眠り猫」の精巧な彫刻に感嘆し、「鳴龍」の不思議に耳をそばだてる。これが東照宮見物のクライマックスだ。KIFAバス旅行参加者は、お互いに記念写真を撮りあい“日光の結構体験”を満喫している様子だ。

◎徳川家ゆかりの精進料理の昼食

昼食は東照宮西参道にある大レストランで、精進料理をいただく。栗おこわ、豆腐やところてんの煮物、酢の物に湯葉の汁物が揃う、その名も徳川家にちなむ葵御膳である。食後、いろは坂を一気にバスは登った。ただ、あいにくの天候で視界不良。ところが、中禅寺湖畔を通



1号車のみなさん



2号車のみなさん



左・東照宮、右・湯滝にて

り過ぎ戦場ヶ原に近づくと、先刻の視界不良の天候が嘘のように晴れ渡り、2486mの男体山の雄姿がはっきり眺望できた。

つぎの目的地は「湯滝」。日光といえば「華厳」「竜頭」が名高いが、落差75m、最大幅41mの湯滝の一気に流れ落ちる情景は、他の2つにないダイナミックさがある。湯滝から引き返し、日光最後の観光地・華厳の滝では濃霧が立ち込めて、「音は聞こえど姿は見えぬ」状態だ。

帰りのバスの中では、いくつものゲームに興じた。日本人と外国人。それぞれの違いを超えて、最後まで楽しい「国際交流」の1日を日光バス旅行で過ごした。

第5回KIFA青少年ロングステイ報告会

今年で第5回となった「KIFA2007年度・青少年ワカタネ・ロングステイ」は、7月27日から8月23日までの4週間、姉妹都市ニュージーランドのワカタネに滞在、ホームステイをしながらトライデント高校に通った。公募で選ばれた4人（高校生・大学院生）と、今年が初め

てとなる鎌ヶ谷高校の2人の交換留学生の計6人による報告会が8月26日（日）、「まなびいプラザ」会議室で開かれた。渋谷定重副市長（清水聖士市長の代理）、川西八郎教育長ら関係機関からの来賓7人、参加した生徒の父母ら4人、KIFA役員と実行委員ら20余人が出席した。



日本語クラスの生徒とスパイダーマンのポーズ



日本語クラスで書道のプレゼンテーション



長谷川さんのホストファミリー

ワカタネのトライデント高校で 体験した感動と生き方の再発見



6人の世話をしてくれた、トライデント高校のポール先生から送られてきたメールで、彼女たちのワカタネでの生活の一部を紹介すると、次のようなものでした。

●素晴らしかったプレゼンテーション

6人が用意した日本紹介のプレゼンテーションは長谷川純子さん：ソロバンの紹介、関谷美咲さん：メンコとこまの紹介、岩下留吏佳さん：ドラえもん紙芝居による日本の行事紹介、片桐由理さん：ピアノ演奏、鈴木友子さん：書道の紹介と実演、森菜奈子さん：東京ディズニーランドの紹介など。トライデント高校の日本語教室〈上級〉でのプレゼンテーションは大変、人気があり教室中が興奮状態になり、彼女たちは皆、満足そうだった。

●幼稚園で折り紙を教える

ホストマザー（ルイス・ウエバーさん）が全員をOhopeの小学校にマオリダンスを見に連れて行ってくれたり、幼稚園を訪問したときは、日本の歌やあいさつ、折り紙を教え、子供たちや先生に歓迎されたという。

またトライデント高校のマオリの生徒から、伝統的なマオリ風の歓迎を受け、マオリダンスや歌を教えられることなど、忙しかったステイも終わりに近づいた。

彼女たちは、ホストファミリーから別れるのが寂しく泣き続けている。ポール先生は、生徒たちは素晴らしかった。一緒にいて楽しいし、彼女たちから、私たちが多くのことを学んだ。彼女たちは沢山のいい友だちが出来たようだと、メールに記されている。

報告会で6人は、ホームステイ先からトライデント高校へ通学し、親切だったホストファミリーとの交流、学校での出会いなど、4週間の貴重な体験を、涙と笑顔で語った。ワカタネありがとう。（以下、写真右からの順）

◆長谷川純子さん（大学院2年）＝午前中は英語の勉強で、午後はホストチュードントと同じ教室で授業を受けた。彼はものすごい勉強家で、どうしてそんなにするのかと思うほど、たくさんの科目を持っていた。ワカタネはとてもキレイで、「自然を守るために、自分たちで意識して努力している」からだ、と、教えられた。

◆関谷 美咲さん（高2）＝一番びっくりしたのは、先生と生徒たちがとても仲良く、友だち同士でよく勉強して、分からないことがあると、すぐ先生に質問する。帰ってからも電話で聞いたりしている。生徒同士もフレンドリーで、男女一緒に体育もする。学校で先生も一緒にスケボーをやる。とても新鮮でうらやましかった。

◆岩下留吏佳さん（高2）＝4年前の中1のとき、1週間ステイした家族に再会できて、うれしかった。今度のホストファミリーには、牛さんがたくさんいて28日間、毎日、赤ちゃんが生まれるところをみた。仔牛にミルクをあげるのを手伝った。カレーライス初めて作って上げたら「留吏佳のカレーが、一番好きだ」と言われた。

◆片桐 由理（高1）＝初めての飛行機、初めての外国体験でした。びっくりしたのは学校生活で、女の子はピアス、お化粧は当たり前。授業中に話したり、飲み物、食べ物、イスを持って移動もする。限度を超えると注意される。生徒たちはよく質問をする。先生も必ずそれに答える。生活時間も大変自由で、ゆったりしていた。

◆鈴木 友子さん（高2）＝日常の高校生活について。6時半ごろゆっくり起きて、7時半ごろバスが来て登校。教室では好きな席に着く。質問をどんどんする。先生は一つずついいねいに答える。体育は男女混合で本気にやる。4時には帰宅。夕食は家族揃って話しながら1時間。10時には寝ている。私は人生観が変わりました。

◆森 菜奈子さん（高2）＝ホストファミリーの家は小さな島にあった。6世帯ほど離れて住んでいるが、朝夕、声を掛けあっている。通学は舟と車で通った。ファミリーはとても親切で、ユーモアがあって、毎日美味しい食事を作ってくれた。夕食は家族全員で話しながらいただく。憧れだったニュージーランドが大好きになった。

新企画

タイ、ベトナム、フィリピン出身者を招き、

「アセアンをもっと知る会」

お国の紹介とティーパーティー

(左から) トラン・バンロム、齊藤カルナ、小山田ジェンマさんの3人



「アセアン（東南アジア諸国連合）の国々は日本にとって身近な国なのに、意外に知らないことが多いのでは？」

鎌ヶ谷市国際交流協会（KIFA）では、7月22日（日）の午後、新しい試みとして、鎌ヶ谷在住のアセアンの国の出身者を招き、それぞれの国について話をしてもらう「アセアンをもっと知る会」を企画した。

この日の講師は、齊藤カルナさん（タイ）、トラン・バンロムさん（ベトナム）、小山田ジェンマさん（フィリピン）の3人。会場は、中央公民館4階学習室。

参加者40人（KIFA会員28人、非会員12人）を前に、ちょっと緊張気味の3人は、それぞれが自己紹介を兼ねて出身国について紹介してくれた。事前に3つの国の概況とあいさつ言葉の資料が配布されているので、参加者の反応もいい。スピーチの後は、お国の珍しいお菓子を食べつつ、遊びや年中行事についての質問タイム。

タイのお菓子について、料理本を見せながら紹介するカルナさん。タイ王室に関する質問を受けて、「この場で簡単にはお答えできない」と微笑する。



ベトナム・ホーチミン市に近い町の出身トランさんは、「故郷の古い街並みが好き。いま、国が独立していることに誇りを持っている」という。

ジェンマさんは、フィリピンのお国自慢に「美しい海に浮かぶ7000以上の島と美味しいバナナとパイナップル」を挙げた。

そのほか、「日常の食事は?」「結婚相手はいかに探すか?」「日本に住んで困っていることは?」など、いろんな質問に出た。

困惑をしながらも、日本語で丁寧に答える3人が、口を揃えて同じ回答をしたのは次のテーマだった。

「あなたの国では、学校で子ども同士のいじめはありますか?」「いえ、まったくありません」

最近の日本の学校、どうしたものか。日本に来た事情や動機はそれぞれ違っていても、祖国への想いや誇りは3人とも共通している。政治状況や少し難しい質問もあったが、「アセアンを知る」充実した2時間が過ぎた。楽しい雰囲気の中にも、これからのKIFA活動にプラスになる収穫もある、熱気のある会だった。

Let's Enjoy English Talk!

思いっきり「英会話」を楽しむ



4回目を迎え、定着するKIFA「英会話サロン」

4回目となる「KIFA英会話サロン」が9月2日（日）、総合福祉保健センター6階大会議室で開催された。

「外国の文化・暮らしについてナマの英語で会話したい……」という市民35人（会員28人・非会員7人）が参加。和やかに英語だけの対話の輪が会場中に広がった。

3人の外国人ゲスト（講師）が5分間スピーチを行った後、3グループに分かれて着席、お茶を飲みながら「英会話サロン」（英語だけの談話・談笑）が始まった。

講師のデリック・スミスさん（カナダ出身）はロッキー



(左から) 中山聡子、ミケレ・モンテネグロ、デリック・スミスさんの3人

山脈の松喰い虫の被害、地球温暖化で森林が死滅しかけている…と環境破壊の現状をレポート。

中山聡子さん（中国出身）は中国の教育問題について、日本と同じ英語教育が盛んで、都市と農村の格差が大きな問題になっていることを報告。

ミケレ・モンテネグロさん（オランダ出身）は、オランダのボランティア活動の、いろいろな取り組みについて話した。

参加者にとっても、身近な環境や教育問題だけに質問・討議にも熱気が入り過ぎ、予定時間はあっという間に終わってしまった。

今回、サロン終了後、アンケート（英文）を実施した結果、参加者の多くが次回（1月予定）も参加を強く希望していることが分かった。もっと回数を増やしてほしいという要望も多く、おおむね好評だったので、さらに趣向をこらした企画をすすめていきたい、今後も期待のもてる催しだった。

KIFA設立20周年 ワカタネ姉妹都市提携10周年記念 KIFAパーティーへのお誘い

今年度のKIFAパーティーは、設立20周年記念事業および鎌ヶ谷市とワカタネ(ニュージーランド)との姉妹都市提携10周年の合同パーティーとして実施します。

恒例により国際色豊かなブース、舞台上でのパフォーマンス、そして全員参加のゲームなど楽しいことを盛り沢山用意しています。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場くださるようご案内申し上げます。

日時：2007年11月18日(日) 13時～15時30分

受付：12時30分から

会場：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 6階大会議室

内容：記念式典

：立食パーティー：パフォーマンス(ハーモニカ演奏、フラメンコ舞踏など)：お茶席

：ブース(鎌ヶ谷市、鎌ヶ谷高校、KIFA日本語教室、ハンゲル講座、子ども英会話教室など)

：ゲーム(○×二者択一クイズ・賞品付)

：記念品(特製シャープペンシル贈呈)

参加費：一般・会員1000円(非会員1500円)

大学生、高校生、中学生・500円(700円)

小学生・300円(500円)

(注)小学生未満は無料。なお、上記は前売り券の金額です。当日券は各500円増となります。

※申し込みは10月30日までにKIFA事務局へ。

記念講演会のお知らせ

日時：2008年1月27日(日) 13時～15時

会場：東部学習センター・レインボーホール

講師：遠藤盛章氏(国際ビデオジャーナリスト)

テーマ：「テレビ・戦争報道の現場」

内容：1990年代からアフガン、イラクなど戦争の現場で取材し、テレビニュース、ドキュメンタリー番組の制作に携わってきた遠藤氏が実際に放送した映像を見ながら、現代メディアが伝える「戦争と平和」について考える。

We did it 姉妹都市ホームステイ3話

①ウィルフレッド君

2007年度青少年ワカタネ・ロングステイ(2面参照)の交換留学生として、トライデント高校3年生のウィルフレッド・ウェーバー君(写真)が9月1日来日。9月中、鎌ヶ谷にホームステイし、鎌ヶ谷高校に通学し、通常の日本語での授業に参加した。ホストファミリーは、鎌高生徒の家庭やKIFA会員の家庭が受け入れた。



②トライデント高校生

姉妹都市ワカタネのトライデント高校生19人が鎌ヶ谷市を訪問し、市民と楽しく交歓した。9月20日(木)に成田空港到着後、鎌ヶ谷市役所でホストファミリーと対面式。21日、鎌ヶ谷二中訪問、日ハム球場など市内見学。22日午後、総合福祉保健センター6階で歓迎パーティ。23日、ホストファミリーと過ごすフリータイム。24日、原宿・秋葉原など東京見学。25日、東京ディズニーランド。26日、新鎌ヶ谷駅でお別れ式。高校生たちは若者らしく元気に楽しくこなし、姉妹都市交流の大役を果たした。

③ワカタネ成人派遣

今年のKIFA企画による成人の「ワカタネ交流ツアー」は、11月2日(金)～8日(金)の7日間、参加者は酒井哲郎KIFA会長をはじめ6人のメンバーで実行されることになった。この間、ニュージーランドの自然や文化に親しむ一方、鎌ヶ谷市長や市議会議員が出席の姉妹都市提携10周年の記念行事に参加する。ツアー一行はワカタネ滞在中、一般家庭にホームステイして現地の人々と姉妹都市の友好と友情を深める。



日本語教室

「七夕まつり」開催

7月3日(火)夕方、中央公民館の学習室で日本語教室の特別学習会「七夕まつり」が開かれた(写真)。参加者は、外国人20人、ボランティアなど24人。用意された短冊にそれぞれ願い事を書いて笹に飾り、ボランティアが持ち寄った浴衣の着付け、盆踊りを笑顔で体験し、日本の伝統文化を楽しんだ。有意義な2時間の国際交流だった。

まなびいイベントで「国際交流」をPR

9月29日(土)、まなびいプラザ1階特設会場で、市民活動推進センターの開所1周年を記念して各種イベントが開催される。鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)は、これに参加し、市民公益活動団体インフォメーションブース(14組参加)にパネル展示や資料を配布して、市民の人々にKIFAのPRをする。

《広報委員会より》

次の『KIFA plaza58号』(11月18日発行)は、 「KIFA設立20周年記念・特別号」

(全32頁)です。これまでの鎌ヶ谷国際交流協会(KIFA)の活動、とりわけ最近10年間の活動について詳細な年表とともに、執行部、交流部会、研修部会や日本語教室、海外派遣事業などの歩みの記録も掲載します。11月18日の「KIFAパーティー」ご出席の方々に配布、と同時に会員各位に郵送します。乞う、ご期待。